

一 根機密第二九號ノ一五ノ一三

昭和十九年一月三十一日

第一根據地隊(旧第十九防空隊) 戰鬥詳報第幾號

○ 自昭和十九年一月一日 對空戰鬥
至昭和十九年一月三十一日 戰鬥見張

第一根據地隊(旧第十九防空隊)

19.4.14
校交

1377

目次

- 一 計画
- 二 自隊及友軍ノ戰鬥經過
- 三 令達報告
- 四 戰果及被害
- 五 我方兵力現狀
- 六 功績
- 七 參考(戰訓)

一計画

一 本月初頭於ケル艦隊編制並ニ軍隊已分

二 艦隊編制

第八艦隊第一根據地隊

三 軍隊已分

南東方面部隊 外南洋部隊 西方面防備部隊 QBZ 地区防備部隊

四 任務

一 固有任務 (擔任地防衛友軍對スル協力其他特令任務)

二 特令任務 (QBZ 地区警備)

三 兵力

八式七挺野戰高射砲 (六) 九式十三挺機銃 (四)
九式七挺機銃 (四)

指揮官
旧第十九防空隊長

本部 第三陣地 清水隊 七挺野戰高 (三) 十三挺 (二) 七七挺 (三)

第二陣地 深谷隊 七挺野戰高 (三) 十三挺 (二) 七七挺 (二)

(註) 第一陣地 (七挺野戰高 (三) 七七挺 (一) 横七特木林戸隊)

ニ上級指揮官ノ作戰命令

戰時日誌十一月號令達報告 頭等照

三作戰命令ノ發布(同左)

四情勢並ニ敵機ノ來襲状況

タルキナ方面ニ揚陸セシ敵部隊ニ對シ我ガ空軍ノ果敢ナル攻撃ト相
埃ナ我ガ陸海軍部隊ハ日夜力戰奮キ漸次敵ヲ圧迫戰果
日ニ興テガリツツアリ

敵機ノ來襲状況ハ前月ニ大同小異ニシテ唯一月ニ亙リ戰爆聯合
七十機以上ノ來襲外大型機ノ偵察ヲ主目的トスル飛行場
爆轟ニ止ミソナリ尚偵察ハ附全クByニ変リタル感アリ本日午二時中
ニタルキナ方面ニ北上セシモト認ムル敵延機數戰爆聯合セテ一日
平均六十機以上ナリ

二、自隊及友軍、戰鬥經過

天月	自隊、戰鬥經過	反
一、	使用兵器	經過
二、	敵射撃数	ハ
三、	我射撃数	シ
四、	未撃機銃数	
五、	効果	
六、	被害	
七、	野高	
八、		
九、		
十、		
十一、		
十二、		
十三、		
十四、		
十五、		
十六、		
十七、		
十八、		
十九、		
二十、		
二十一、		
二十二、		
二十三、		
二十四、		
二十五、		
二十六、		
二十七、		
二十八、		
二十九、		
三十、		

戰況

○八四五 北西方ニ大型軍機、如ク推定セル爆音ヲ聞
 ヲ直ニ全員配置直ニ就
 ○八五三 B24一機トホシ儀行場侵入中、型爆弾数個投
 弾ニ更ニ南東後八セントス
 ○八五五 高度五三〇米の針五〇〇の速ニ五ノ諸先
 二依ノ射撃機ニ入リテ直ニ砲臺同位敵機ニ依
 二更方ニ度針ニ故ニ有動射界少ク、ヲ一彈射
 二此セルニ至道彈ヲ確認シ東ニ北五ノ方角ニ
 逃走セシタリ

横七村森隊
 四一〇機ニ射
 前後ニテ砲臺
 セリ

27.

<p>天月 夜日</p>	<p>自隊ノ戰鬥經過</p>				<p>夜日 夜日</p>
<p>一三</p>	<p>使用兵器</p>	<p>銃</p>	<p>射撃機</p>	<p>効果被害</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二六</p>	<p>四一</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>B-24x1 P-38x2</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	
<p>機</p>	<p>七機野高</p>	<p>三二五</p>	<p>退退</p>	<p>退退</p>	

戰況

全日戰半配置就テ訓練中北空大尉一機ニテ機首南
 一機天即峠方向ニ高度約五〇〇米南南三三度成ニ
 向テ初砲ヲ
 射程内ニ入リ待テ兩陣地同時ニ集ヤ村裏ヲ浴ビテ敵
 機ト左度射シタレバ之ヲ射スル機ニ行ヒ第二群村
 ヲ行テ要衝約五〇〇米一五〇〇米彈着觀測ニシタラス
 日難ナリ敵機ハ五九八トシテ機首南南
 一機北東ニ高度四〇〇米附近ヲ保テ機首南南
 機北東ニ高度四〇〇米附近ヲ保テ機首南南
 機北東ニ高度四〇〇米附近ヲ保テ機首南南

一機ニ射シ
 機七機編隊
 機七機編隊
 之ヲ相射後ニ
 下集ヤ村裏ヲ
 行テ

<p>天月 自隊ノ影 過</p>	<p>一、使用兵器数</p>	<p>時 七機野高 三六 七機野高 三七</p>	<p>一三 B24x1 番退 十シ</p>	<p>要退 イシ</p>	<p>効果被 害</p>	<p>敵機ノ影</p>	<p>敵機ノ影</p>	<p>敵機ノ影</p>	<p>敵機ノ影</p>	<p>敵機ノ影</p>	<p>敵機ノ影</p>
--------------------------	----------------	----------------------------------	-----------------------------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

戦況

○八五。全員戦死。砲道中砲臺機中北西方向大形軍機ヲ

○八五六。一機高度約五〇〇〇米ヲ北西ヨリ更南進シ高低南

○九〇一。第一陣地高度五七〇〇の針五〇〇の速一三〇。一ヲ計

七ノ度附近ヲ横過セシムルヲ認めタリ
 第二陣地高度五五〇〇の針五八〇の速一四〇。一ヲ計
 第三陣地高度五五〇〇の針五八〇の速一四〇。一ヲ計
 射程中三入ヲ待テ集中砲火ヲ浴セタリ彈着ヲ観測
 元ニニ発シ至近彈ヲ認め敵機南更方ニ進走
 セリ爆彈投下セシムル

横七機野高ノ影
 同日機野高ノ影
 三機野高ノ影
 ヲ行ヘリ

天月候日	自隊ノ戦ヲ経過				戦況
一九	使用兵器	敵機	結果	被害	備考
曇	七機野高	一	六	退	シ
〇八五五	全員戦死。配置就中、訓練中東方より、ドラン機				
〇八五七	吾ノ機、九万山方向より、P-38一機、高度三、五〇〇附近、燃空を、				
〇九〇〇	高度三、五〇〇の針五〇〇の速一八〇ノ計出、決定射程、				
外より待たず、第一群射ヲ落セリ、敵機ハ高速ヲ利用シ、 避弾運動ヲ行フ、以テ勅果少シ、第二群射ヲ止メ、 敵機ハ西南方ニ向テ遁走ス、銃爆果ヲ行ハズ					
他隊ノ戦況					戦況

天月		自隊ノ戦		経過		戦況	
日	時	使用兵器	数	射撃	効果	被害	備考
〇八三〇	晴	七機	三	六〇	一〇三	ナシ	敵機ハ南西ニ進走セリ至近彈數ヲ詠メタリ
〇九四〇	晴	七機	三	四三	A-24x8	ナシ	敵機ハ南西ニ進走セリ至近彈數ヲ詠メタリ
自〇九五八	晴	七機	三	四三	ナシ	ナシ	敵機ハ南西ニ進走セリ至近彈數ヲ詠メタリ
至一〇一五	晴	七機	三	四三	ナシ	ナシ	敵機ハ南西ニ進走セリ至近彈數ヲ詠メタリ

天月	一	三日	自隊	戰鬥經過	敵機	ノ	機	ノ	機	ノ
晴	三	三	使用兵器	敵機	敵機	敵機	敵機	敵機	敵機	敵機
雲量	四	三	七	三	六	一	退	シ	シ	シ
高度	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ
機	七	七	野高	三	六	一	退	シ	シ	シ

戰況

○大五 全員戰三配里就ヲ訓練中至東方向大型軍

機ヲシキ爆音ヲ聞ク

○大六 B-24一機高度約五〇〇〇米高南二十度南東ヲ本

地ニ侵入セントスルヲ認ム

高度五六〇〇の針一〇〇の速一三〇ノ諸元ヲ

決定シ射程ニ入ルヲ待テ直ニ反響敵機ヲ西方ニ

退退セリ爆音行ハス

トリホ自此地ニ
他隊ノ射撃ヲ
行ハス

年月日	自隊ノ戦ノ経過	使用兵器	数	射撃種類	集積及効果	効果	被害
一 二五	晴	七種野高	三九	三六	B-24x2	有効弾	十シ
二 四五	晴	七種野高	三七			有効弾	十シ
三 四五	晴	七種野高					
四 四五	晴	七種野高					
五 四五	晴	七種野高					
六 四五	晴	七種野高					
七 四五	晴	七種野高					
八 四五	晴	七種野高					
九 四五	晴	七種野高					
十 四五	晴	七種野高					
十一 四五	晴	七種野高					
十二 四五	晴	七種野高					
十三 四五	晴	七種野高					
十四 四五	晴	七種野高					
十五 四五	晴	七種野高					
十六 四五	晴	七種野高					
十七 四五	晴	七種野高					
十八 四五	晴	七種野高					
十九 四五	晴	七種野高					
二十 四五	晴	七種野高					
二十一 四五	晴	七種野高					
二十二 四五	晴	七種野高					
二十三 四五	晴	七種野高					
二十四 四五	晴	七種野高					
二十五 四五	晴	七種野高					
二十六 四五	晴	七種野高					
二十七 四五	晴	七種野高					
二十八 四五	晴	七種野高					
二十九 四五	晴	七種野高					
三十 四五	晴	七種野高					
三十一 四五	晴	七種野高					

戦況
 全員戦斗配置就き砲戦訓練中東方より大型軍機ト推定セル爆撃ヲ行ハシケル
 砲一機高約五度高度約五〇〇〇米ヲ保テソツ東々南方ヲトリポイル上ニ侵入セントスルヲ認め
 直ニ射撃諸元決定射撃ニ入ルヲ待テ砲雷開始セリ
 敵機ヲスズク砲地上空ニテ砲回南方ニ避退ス
 南進中ノ敵機及砲地上空ニ侵入セントス
 再々之ヲ射シ地隊ト共ニ猛烈セル集中砲火ヲ浴セシメバ敵機ハ北方ニ向ケ遁去セリ本戦斗ニ於テ敵機ノ至近弾アリ被害ヲ與ヘズト認めテ防空警報ヲ行ハス

友軍ハ戦斗中

第一陣地
 (機銃森原)
 二の機二回三回リ
 集中射撃行

〇七〇八 〇七一〇 〇七二三 〇七二〇	戦況 全員待機敵意中東方九方方向凶力ニ爆音ヲ聞ク 第一陣地高南十五度高度目測約五五〇〇尺ヲ保持シツ 本陣地上空ニ侵入セントスルヲ察見 諸元決定射程入ルヲ待テ第三陣地砲臺開始スレハ飛 行場方向ニ侵入シ得命進シテ右方要計ニ其七陣地上空ニ侵入 スルヲ察見 射意諸元決定射程入ルヤ且ニ各陣地集中砲火ヲ猛 烈ニ浴セタルハ敵機ヲ要計ニ第一飛行場北方上空 ヲ通過シ上六八七上上空ニ機動ヲ没シテ銃爆音ヲ行ハズ	天月 候日	自隊ノ 戦斗ノ 経過	一三一 曇	使用兵器 七輝野高 三九 三六 B-24x1 B-25x1	敵機 七輝野高 三九 三六 B-24x1 B-25x1	効果 退 退 退 退	被害 十 十 十 十	経過 第一陣地 第二陣地 第三陣地 第四陣地 第五陣地 第六陣地 第七陣地 第八陣地 第九陣地 第十陣地
		〇七二〇 〇七二三 〇七二〇	戦況 全員待機敵意中東方九方方向凶力ニ爆音ヲ聞ク 第一陣地高南十五度高度目測約五五〇〇尺ヲ保持シツ 本陣地上空ニ侵入セントスルヲ察見 諸元決定射程入ルヲ待テ第三陣地砲臺開始スレハ飛 行場方向ニ侵入シ得命進シテ右方要計ニ其七陣地上空ニ侵入 スルヲ察見 射意諸元決定射程入ルヤ且ニ各陣地集中砲火ヲ猛 烈ニ浴セタルハ敵機ヲ要計ニ第一飛行場北方上空 ヲ通過シ上六八七上上空ニ機動ヲ没シテ銃爆音ヲ行ハズ	天月 候日	自隊ノ 戦斗ノ 経過	一三一 曇	使用兵器 七輝野高 三九 三六 B-24x1 B-25x1	敵機 七輝野高 三九 三六 B-24x1 B-25x1	効果 退 退 退 退

一四三八 騒然タルノコトハ、吾ト共ニ此ノ爆音ヲ聞ク全員戰半
 面且其ノ東南方高南三十度
 一四四〇 此一機高度約〇〇ノ高ニ密雲ニ乘シテ侵入其各陸地
 射撃及十三機機銃ヲ以テ集中彈ヲ送テ敵機ハ銃
 掃蕩ヲ行ヒ得ズ陰謀トシテ北西ニ遁走ス

三 今達報告

戰時日誌十二月號参照

四 戰果及被害

戰果

使用兵器		種別		戰鬥回数		及英ノ延機數		墜機數		發射彈數	
昼	夜	計	及英ノ延機數	墜機數	計	發射彈數	計	計	計	計	
八式七號野戰高射砲	二	〇	二	〇	二	四八三					
九式十三號機銃	二	〇	二	七	一三	一三七六					
九式七七號機銃	二	〇	二	〇	〇	七四二					
註 本戰果ハ高南砲機銃ノ聯合砲火ニ依ルモノトス		及英ノ延機數		墜機數		發射彈數					
		二		三		七〇九					

註 本戰果ハ高南砲機銃ノ聯合砲火ニ依ルモノトス
 四被 害

五 我ガ兵力ノ現状

戰死戰傷死戰病死送院患者共ニナク至要兵器ノ缺損ナシ

亦衛生狀況良好ニシテ戰鬥力ノ低下ナシ

六 功績

敵機ノ喜壞ニ努メ戰果大ニシテ友軍ノ被害ヲ極限ニ功績極大ナクモ

七 參考(戰訓)

ブイン陣地ニ於テ戰斗中辱々敵艦爆ノ急降下爆雲依リ陣地ハ
ニモ敷發ノ大中烈爆彈ヲ受ケテ其ノ都度人員ニ對スル被害モ多少
生ジタルモ尚其ノ土砂木片等散シ砲機ヲ毀損セシメ射器ヲ一時中止
スルノ止ムナク至ル事常ナリ間斷ナク來襲スル敵機ニ對シ砲火ヲ減
スルノ遺憾ノ極ナリ故ニ本陣地ニ移リ一月ニ上リ戰爆七十機以上本
地ニ急降下爆雲ニ際シテ差支ナク砲員ノ都ヲ以テ克ク急降機
ヲ監視セシメ豫メ約一間四方ノ帆布ヲ用意シ爆彈投下ト同時ニ之
ヲ砲屋ニ被覆シテ十寸シメテ本戰斗ニ於テ五米以内中射至近彈後
テ土砂ヲ陣地面ニ被リタレト砲發射ニ當テ差支ナク落下後數秒ニ
シテ次ニ射器ヲ繼續シ戰果大ニニ上リテ爆彈投下ヲ見時ヨリ落
下迄僅少ナルヲ豫知シ最嚴重ナル四周見張ト相埃ナク急降下機
射器ノ効果ヲ大ニニ上昇スルモノト思考セリ

功績調査部長殿

一根機密第二九號ノ五ノ五

昭和十九年二月二十九日

第一根據地隊(旧第十九防空隊)戰鬥詳報第七號

自昭和十九年二月一日
至昭和十九年二月三十一日 對空戰鬥
戰鬥見張

第一根據地隊(旧第十九防空隊)



七	六	五	四	三	二	一	
参	功	我	戰	令	經	計	目
考	績	方	果	達	過	画	
(兵	及	報			欠
戰		力	被	告			
訓		現	害	等			
)		狀					

計画

本月初頭に於ける艦隊編制並に軍隊区分

艦隊編制

第八艦隊第一根據地隊

軍隊区分

南東方面艦隊外南洋部隊RX方面防備部隊QBZ地区警戒備部隊

任務

一固有任務(擔任地区)防衛友軍に對する協力其他特令任務

二QBZ地区警戒備

兵力

(指揮官)

旧第十九防空隊長

八式七糎野戰高射砲(六) 九三式十三糎機銃(四)
九三式七糎機銃(四)

本部第二陣地(津浦隊七糎野高)十三糎(三)七七糎(三)

第三陣地(深谷隊)全

右

(註)第一陣地(横特森戸隊七糎野)三七七糎(一)

(一) 上級指揮官ノ作戰命令

戰時日誌二月號令達報告ノ項參照

(三) 作戰命令ノ發布

戰時日誌二月號參照

(四) 情勢並ニ敵機來襲狀況

敵ハ其ノ航空兵力ヲ前月ニ引續キ「ラバウル」及「エムギニア島」攻奪ニ注
ギツナルモ小編隊或ハ四單機ヨリナル大型(B24)ノ飛行場ノ爆撃或ハ
同ジク戰鬥機艦爆ヲ以テ要地ノ低空偵察銃轟炸等行ヒ來レリ
カルクニ於ケル友軍部隊ハ有力ナル敵ト對峙シ之ヲ壓迫ス
全員斗志益々旺盛折言シテ敵航空兵力ヲ滅殺シ敵ノ反攻意圖
ヲ徹底的ニ粉碎セシトナリ

二 自隊及友軍ノ戰鬥經過

天月 候日

自隊ノ戰鬥經過

友軍ノ戰鬥經過

二一〇	使用兵器	數	發射彈數	機銃機種數	効果	被害
晨雲	第二陣地 七種野高	二	三	機銃機種數		
要重四	第三陣地 七種野高	二	四	機銃機種數	毒退	十三
	第四陣地 十三種機銃	二	五			

戰況

〇五四五 哨戒口員敵ニ警戒中 南東ニ編隊ラシキ 爆音ヲ出カニ 聞キ 全員配置ニ就キ 待機中

〇五五〇 敵四機 戦手機四機ノニ 編隊ニ分カレ 先ズ 敵ヨリ本 陣地ニ向ヒ 南東ハラレ島ノ方向ヨリ 侵入セントスルヲ 認メ 各 陣地指揮官 応答射撃ヲ 決心 六秒七秒ヲ以ツテ 射 程ニ入ルヲ 待テ 十三種機銃ト 共ニ 猛烈ニ 砲火ヲ 浴 セル 敵機ハ 銃爆轟ヲ 行ヒ 得ズ 狼狽 避彈 運動ヲ 行ヒ ツツ 北西ニ 向ヒ 遁走セリ

第一陣地 横七特森戸 隊ニ 之ヲ 射シ 集中射撃ヲ 行フ

一三三。哨戒員警戒甚嚴待機中艦爆或ハ戦斗機一機ヲシテ爆着ヲ必カニ開ク全員直ニ戦斗配置ニ就ク 一三三。艦爆一機北東ヨリ高度約三〇〇米ニテ本陣地ニ侵入セリ 一三三。スルヲ認ル信管射撃及機銃射撃ヲ決心猛烈ニ之ヲ射集 中射撃ヲ行ヒタルハ敵機ハ抗爆薬ヲ行ヒ得ス槍達ニテ北 西ニ遁走スルヲ再ヒ北方ヨリ本地区ニ侵入陣地西方ヲ射撃外 ヲ横過シテ南方ニ遁走セリ	戦況 他隊之ヲ射撃 射撃ヲ行ハ	月日 二一三	自隊ノ戦斗経過 天候 晴	使用兵器 七輝野高 十三機銃 七機銃 十三機銃	数 三 二 二	発射弾数 一 三九 三〇	艦爆× 一	効果 真退 ナシ	被害 一	友軍ノ戦斗経過 概要
		曇 曇 曇	七機銃 十三機銃 七機銃	二 二 二	三 二 二	一 三九 三〇	一 三九 三〇	一 三九 三〇	一 三九 三〇	一 三九 三〇

戰況	晴				天月	自隊ノ戰鬥經過	諸元決定射程ニ入ルヲ待テテ各陣地ニ齊集中砲火ヲ浴セ至近彈ニテ有射彈ト認ムルモノ多敷アリ之ヲシテト下ノ方向ニ退文ニ第ニ飛行場及隣附近ヲ首爆セリ 全員戰鬥配置就テ待機中我々機或ハ敵爆單機ノ超低空爆喜ヲ聞ク 西南方ノ一機高度約一〇〇メートル超低空ニ本陣地廣クセ下スルヲ認ム十三機七七機機ヲ三返東スルハ銃爆喜ヲ十三機得ズ東方ニ逃走ス
	要量	三	二	一	候日		
	陸	七	七	七	使用兵器		
	七	七	七	七	數		
	七	七	七	七	發射彈數		
	七	七	七	七	種及數		
七	七	七	七	效果	友軍ノ戰鬥經過ノ概要		
七	七	七	七	被害			

0700 全員戦車訓練中北東
0705 ポートニコフス山ニ機高度約2000米ヲ本陣地上空

ニ侵入セントスルヲ認ム各陣地信管射撃ヲ決心シ射撃
ニ入ルヤ直ニ砲機銃ヲ以テ猛襲ス敵機ハ避弾運動
ヲ行ヒツシ執拗ニ急降下或ハ低空ヲ以テ銃撃ヲ陣地第
ニ飛行場及ビ其ノ附近ニ加ヘ一時回ニ及ブ復撃ヲ兼テ
タルモノノ如ク思考ス

0755 敵機ノ一ハ砲機銃ノ集中十字砲火ニ遂ニ尾羽翼附近
ヨリ黒煙ヲ吐キツシ北方ニ遁走ス
他ノ一機ハ南東ノ雲中ニ遁走機影ヲ没シタリ

横七特
福山隊森
隊川日隊
砲撃ヲ行フ

年月日	自隊ノ戦ノ経過		戦況		備考
二月七日	使用兵器	数	発射弾数	未燃炸薬数	効果
二月八日	七糎野高	二	一八	20x1	被害
二月九日	七糎野高	三	三四	20x2	ナシ
〇七〇〇	全員戦斗配置就緒訓練中西南方向より一機推定セル爆音ヲ聞ク西南方向ヨリ				
〇七〇一	20機高南十五度目測高度約三五千メートル本陣地ニ侵入セトスルヲ認め諸元決定射程ニ依リ待テ砲火ヲ集中スルハ敵機ハ避弾運動ヲ行ヒシツ強硬ニ侵入第ニ飛行場上空ニ大キク左変針北西進走ス銃爆裏行ハシムス				
〇九四〇	熾烈ナル空襲ヲ予期シ警戒戒ヲ嚴シ待機中大型軍機ヲ見爆音ヲ西方ニ聞ク				
〇九四一	高度目測約六〇〇〇メートル一機本陣地ニ侵入セントスルヲ認め射程ニ入ル待テ直強烈ナル砲火ヲ浴セテ敵機ハ第ニ飛行場ニ槍達トシ後弾東方ニ進走スルモ〇九五〇再ヒ北方ニ侵入地上十号砲火達ニ陣地上空ニ侵入シ得ズ変針南々西進走セリ				
〇九四三					
	横七特務隊森隊之ニ対シ果中砲火ヲ浴セリ				
	反軍ノ戦ヲ経過ノ概要				

<p>戦況</p> <p>三〇〇 東方ヨリ大型一機爆音聞ク 全員戦斗配置ニ待機中 四一機東々北方ヨリ高 度目測三〇〇米ニテ本陣地上空ニ侵入セント認ム</p> <p>三三三 信管射撃ヲ以テ砲臺敵機ハ直ニ南東ニ変針シ銃爆 音ヲ行ハズシテ捨違トシテ南東方向ニ遁走セリ</p> <p>信管ハ九秒一〇秒ヲ使用セリ</p>	天候	月	自隊ノ戦斗経過	
	雲量 五	半晴	二一八	使用兵器
	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	数
	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	殺射弾数
	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	機銃機
	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	効果
	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	陣地 七 榴野高	被害
<p>第一陣地 之ニ対シ集 中砲火ヲ浴 ス</p>			<p>B-24x1</p> <p>撤退</p> <p>ナシ</p>	

要量。	二二。		天日		自隊ノ戦斗経過	
	量	量	使用兵器	数		發射弾数
陣地	陣地	陣地	七榴野高	三	九	種々機
七榴野高	三	七	二六	B24x0		
				東退	効果被害	
				ナシ		敵機ノ戦斗

戦況

八一。全員戦斗配置ニ訓練中北東ニ大型小編隊ト推

定サル爆音ヲ聞ク

〇八三。北方ヨリ B24 二機北東 B24 一機第一飛行場本陣地ニ侵入

セントスリヲ詠ハ射程タルヤ直ニ砲臺開始

北東ヨリ侵入一機ハ第一飛行場ニ投降終、砲火ニ追ハ

レ傍邊トシテ南東ニ逃走セリ

天月 候日	自隊ノ戦ノ経過		友軍ノ戦ノ経過
二二一	使用兵器	数	初果
晴	七糧野高	三	被害
要量二	七糧野高	三七	ナシ
		五四	
		B24x4	
		有動弾	
		退入	
〇六四〇	戦況		
〇六四二	〇六四〇 全員戦キ配置就テ訓練待機中北方ニ大型軍機ト推定 サルル爆音ヲ聴取セリ 〇六四二 北方「万山」方向B24一機並ニ飛行場附近侵合シタルヲ認め敵機 八機飛行場ニ数個爆弾ヲ投下陣地上空ヲ旋回之ニ対シ各陣 地猛烈ナル砲火ヲ浴スルニバ南道ニ逃走ス 〇七一〇 續キ北東ニ大型小編隊爆音ヲ聞キ北東方向「B24」三機本陣 地ニ迫ラントスリテ認む目標更換之ニ対シ集中砲火ヲ送ルニ敵ハ至道 彈迫ルニ隊トナシ一機ハ西方ニ機ハ南西道ニ逃走セリ		
	横七村	福山隊森隊	之ニ対シ集
	中射撃ヲ行フ		

42

三合達報告
 戰時日誌二月號卷昭

要量八	日	天	自隊	戰	經	過	経友 過軍 概戦 密
	二九	候日					
五	使用兵器	数	發射弾数	未着弾数	效果	被害	
七	野高	三			果退	ナシ	
戦況 〇八〇八 全員訓練中 一機墜落音聞ク 一機南高五〇〇米ヲ飛来龍巻之ニ付シ反撃ヲ行 致然飛行場上空ヲ變針東北ニ遁走ス抗爆実行ト得ズ							

四. 戦果及被害

使用兵器別	戦斗回数	交戦機数	墜機数	発射弾数
八八式 七機野戦高射砲	晝 一五 夜 〇 計 一五	B-24x2 P-36x2 爆撃機 (二五)	〇 一 計 一	三九三
九三式 七機野戦高射砲	〇 〇 計 〇	XF4Ux2 偵察機 (一)	〇 〇 計 〇	六一二
九二式 七機野戦高射砲	〇 〇 計 〇	P-38x3 偵察機 (三)	〇 〇 計 〇	一一六

我方被害ナシ

五、我が兵力ノ現状

戦死戦傷死戦病死送院患者共ニナク主要兵器毀損ナシ又衛
生状況モ良好ニシテ戦斗力ノ低下ヲ認メズ

六、功績

敵機撃壊ニ努メ友軍ノ被害ヲ極限シ功績極メテ大ナルト認め

七、考(戦訓)

電氣通信器比無ナル僻地野戦高射砲陣地ニ於テ戦斗中爆音
銃爆音或ハ自隊及友軍砲音等ニ遮テ蔽カレ指揮通信連絡ノ難中
ノ難ナリ依ツテ傳令其他砲員ノ諸訓練徹底的ニ行ヒタルモ尚不充分
ナル莫多クアリ故ニ熱帯地ニ繁茂スル樹木柳樹ヲ伐採シ其中味ヲ取
假傳音管ヲ作リ之ヲ指揮所各砲台間ニ埋設設備セリ之ニ依リ指揮
連絡モ前記ノ如ク良好ト甚ク射撃指揮迅速確實ニ行ハレ射撃ノ時
機等ノ失スル事ナク効果大ニニ揚レリ